R5 年度 4 月　ばら組ドキュメンテーション「友達といないいないばあ遊び」

４月に入園したＡちゃんとＢちゃん。
園生活にも慣れ、散歩に行くと、公園の遊具の陰に隠れた保育士を見つけて喜ぶなど、
大人と一緒に遊ぶ姿が見られるようになった。

↓

ある日、屋上で遊んだ。
屋上には柱がいくつかあり、この日も保育士とＡちゃん&Ｂちゃんで、
柱の陰に隠れて探す遊びを楽しんでいた。

↓

しばらくすると、Ａちゃんが柱の陰に隠れ、ＢちゃんがハイハイでＡちゃんの元へ向かった。
そして、Ａちゃんが顔を覗かせると、２人で笑い合っていた。

☆考察☆

　始めは親から離れることを不安がっていた新入園児の子どもたちだが、保育士との信頼関係が出来始め、一緒に遊ぶことを楽しむようになった。そして、ＡちゃんとＢちゃんは、以前に保育士と遊んだ経験が、今回の友達同士の関わりに繋がったと考えられる。１歳児になると、次第に友達の存在に興味を持ち始める。まずは保育士が子どもにとって「安心して遊べる存在」となったのち、仲立ちをしていくことが大切だとわかる。